

えがお通信



2021年度3月号
社会福祉法人 尚徳福社会
おぐら保育園 園長 酒井和子



桃の節句が過ぎると春も間近になります。しかし、暖かくなったり寒くなったり、体調を崩しやすい季節になります。

保育園では工夫を凝らした可愛いおひな様が飾られ賑わっています。

早いもので今年度もあっという間に最後の月となりました。

4月の初めと比べ見違えるように、一人一人がぐーんと大きく成長し、たくましく頼もしくなってきました。クラスとしてのまとまりや友だちとの関わりも豊かになり、次のステップに向かって準備が整ったように思われます。

3月は心ウキウキうれしい月です。みんなで遊んだり春を見つけに行ったりと楽しい時間を過ごし、思い出をつかっていきたいと思っています



3月の行事

3日(木) ひなまつり会食

10日(木) 避難訓練

24日(水) 避難訓練

22日(火) 乳児誕生会

23日(水) 幼児誕生会

26日(土) 卒園式

★この度は、コロナ感染症発症のため、休園し大変ご迷惑、ご心配をおかけしましたこと深くお詫びいたします。また、登園自粛要請にご協力いただきありがとうございました。

★



乳児クラス



幼児クラス



4月のころは、どこのクラスからも泣き声が聞こえてきていましたが今は笑い声やあどけない会話があちらこちらからも聞こえてきます。

保育士の真似をしている姿も多く見られ、どこのクラスにも小さな先生がたくさんいます。

進級に向けて異年齢で楽しく遊んでいる姿が多く見られます。また、期待もふくらみ一段と自信に満ちた表情も多く見られます。

また、今まで経験してきたことを土台に大きく成長し、たくましい姿がみられます。

ゆり組

生活中心の日々から勉強も加わる小学校への入学。《期待一杯》でもちょっぴり心配という気持ちでいることでしょう。残り少ない園生活の一日一日を大切にしながら、卒園に向けて準備に取り組んでいます。「みんなが卒園したら寂しいな」と言う「だいじょうぶ。あそびに来るからね」と言ってくれる子どもたち。お別れの日を前に嬉しさとさびしさが同居してとても複雑な気持ちです。

節分

昨年までは、幼児クラスは、ホールで自分の作った鬼のお面を披露していましたが、今年度は、コロナ感染症予防の為、各クラスで行いました。

お土産のお菓子を嬉しそうに持って帰っていました。



保護者アンケート

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

結果につきましては、後日お知らせさせていただきます。

自己評価

年2回職員全員が自己評価を行っています。保育の理念、方針内容の共通意識はありますが、課題もまだまだあります。今後も職員一同努力を続けていきたいと思っております。

耳の日

3月3日は「耳の日」です。耳は音を聞くだけでなく、体のバランスを取ったり気圧の変化を調整したりするなど、大切な働きがたくさんあります。耳のそばで大声を出さない、ふざけて耳の中に物を入れたりしない、耳をたたかない、鼻をかむときは、鼻を片方ずつ押さえるなど耳に負担をかけないように気をつけましょう。



1年間のご挨拶

【乳児クラス】

個々の成長の違いが色濃くあらわれる乳児クラス。温かく豊かな触れ合いのなか十人十色の成長が見られました。

★子どもたちの成長を保護者のみなさまと共有できたこと心から嬉しく思いますと同時にたくさんのお力添えをいただき、心から感謝申し上げます。

【幼児クラス】

毎日のあそびや様々な行事を通して子どもたちは仲間と喜びを分かち合いながら心豊かに成長してきました。